

10/13 木曜

戦争準備 日米訓練ノ-



「戦争準備の日米合同訓練はやめろ」「武力より平和外交を」と訴えデモ行進する集会参加者=12日、沖縄県沖縄市

沖縄市で市民集会・デモ

14日から沖縄県内各地で実施される陸上自衛隊と米海兵隊の日米合同訓練「レゾリュート・ドランゴン(RD 23)」に反対する集会が12日、沖縄市で開かれ、結集した約100人が「沖縄を再び戦争にするための準備は絶対に認めない」と抗議しました。県内中部地域で活動する12の市民団体についての実行委員会が主催しました。

RDは国内最大規模の訓練で、沖縄中部では米海軍基地ホワイトビーチから日米の大型車両など

で陸上輸送した補給品をM V22オスプレイなどが輸送する訓練などが行われます。米軍基地が集中するほか、自衛隊のミサイル配備や弾薬庫建設が狙われている中で、訓練に対し、市民が立ち上がり怒りの声を上げました。

第4次嘉手納爆音訴訟原告団の新川秀清原告団長は「沖縄戦で学校が軍隊に奪われた。軍隊は住民を守らない。戦争に対する「うつむかんの会」や与党県議団も連帯を表明しない」と強調。「ミサイル配備から命を守るために市民の会」共同代表の山内末子県議は「生活の中に当たり前のように軍事訓練が入っていない」と唱和し、市内をデモ行進しました。

「自衛隊の弾薬庫等建設に反対する沖縄市民の会」共同代表で日本共産党の、しまぶく鹿祐県議は、「市民の命、人権を尊重を許さず、人の命を奪う状況を決してつくりせぬ」と訴えました。

日本共産党の、あかみね政賛衆院議員ら沖縄選出の野党国会議員についての「うつむかんの会」や与党県議団も連帯を表明しました。

参加者は集会後、「沖縄をこれ以上苦しめる「武力より平和外交を」と唱和し、市内をデモ行進しました。